

海洋科学マスタープラン提案と学術会議計画への修正案

学術会議による大型計画策定の動きをきっかけとして、海洋科学専門家の間で研究方針に関するマスタープランを作ろうとする動きが出てきましたので、その大枠をここに提案し、皆様のご意見をとりまとめる礎になれば幸いと考えています。

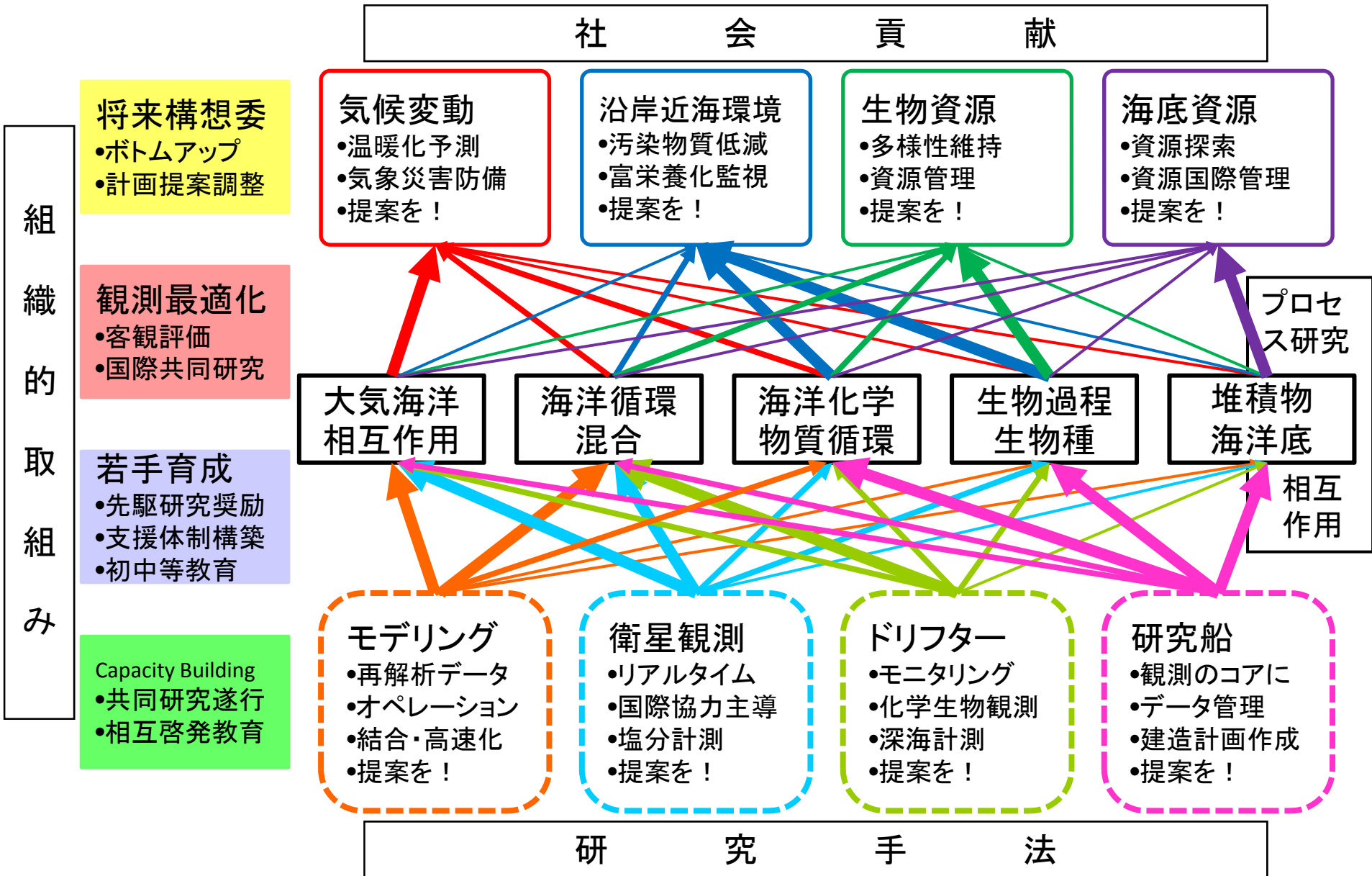
本来はマスタープランがあって、それから随時必要となったら(学術会議などへ)提案を出すのが理想ですが、順序が逆になっているので、マスタープランは大枠を作り、修正提案はその枠に皆様からのご提案をいくらか書き換えて作るのがよいでしょう。

次ページからの図を説明します。海洋研究分野を中段に、それが使う手段を下段に、また社会貢献の内容を上段に置いてマスタープラン大枠を作りました。これらがきれいに分割されていれば、大型計画を作るのも簡単ですが、海洋科学は必ずしもそうではありません。2ページ目にある学術会議の案は手段による項目と、目的による項目が混乱しています。大型計画には「大型施設」と「大規模研究」の2種類があり、前者は手段、後者は分野と目的で整理されていると考えられます。

皆様からは海洋を中心に項目を作りたいとお考えをいただきました。それを取り入れて3ページ目にあるたたき台1号を用意しました。ただし、既存の3項目は、「衛星」が手段によるもの、「全地球生命史」は手段を主に目的も、「未来予測」は目的によるものです。新規項目の「海洋環境保全と持続的利用(仮題)」は目的を主に、手段もある程度考慮したものとなりました。

学術会議計画の修正は11月15日までに地球惑星科学委員会に提出します。皆様にはマスタープランの枠組みについても、学術会議計画への修正でも、何なりとご意見を出していただき、それらを基に十分な意見交換を行って、より良い案を作る所存です。

海洋科学マスタープラン(たたき台)

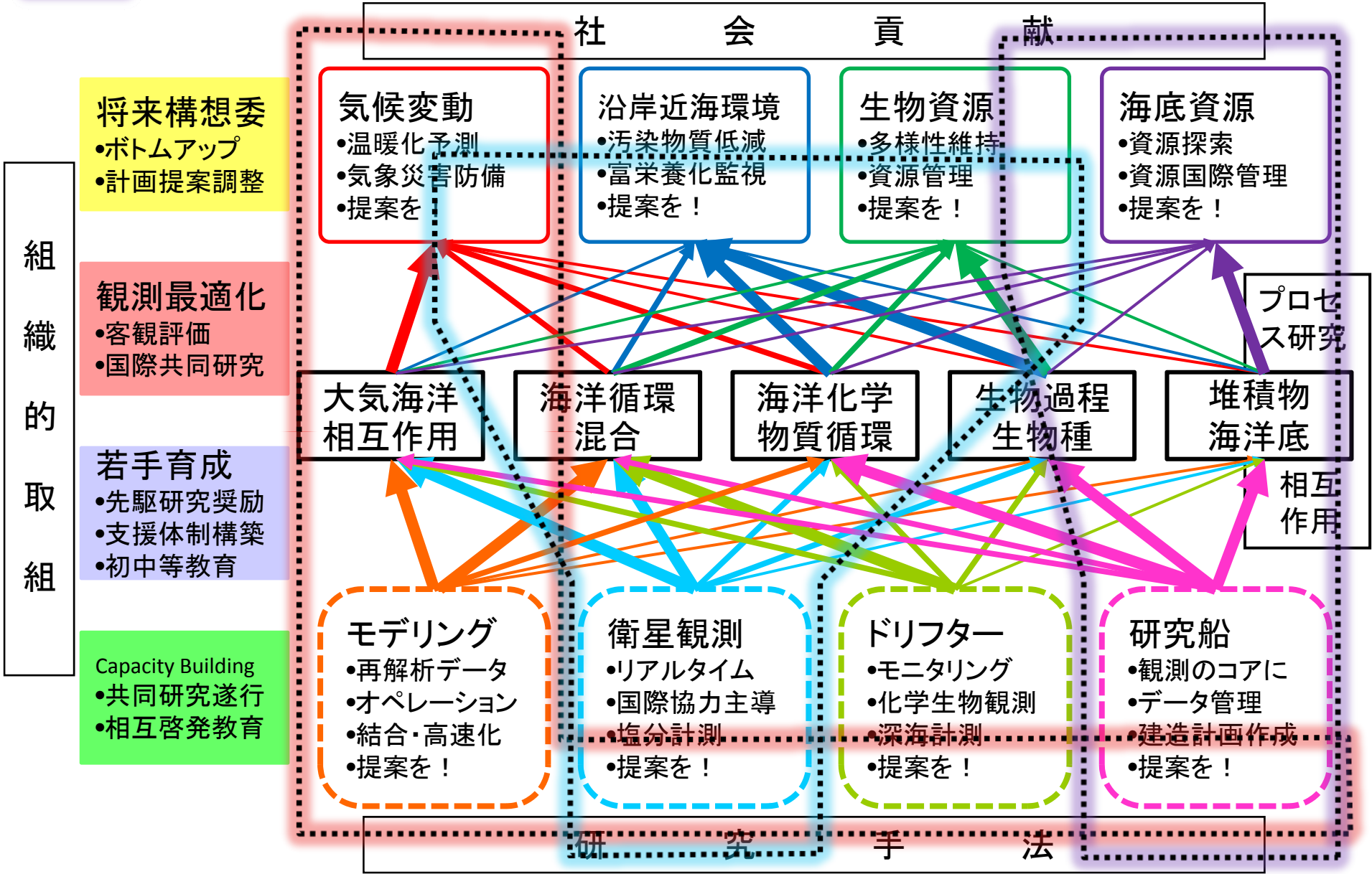


..... 衛星による全球地球観測システムの構築

学術会議策定(22年3月)

..... 未来予測を目指した地球環境の観測・実験・モデル研究

..... 全地球生命史解読と地下生物圏探査計画



海洋環境保全による生物資源の持続的利用(新規提案)

学会議案の3項目に加えて

海洋科学提案

(22年11月)

